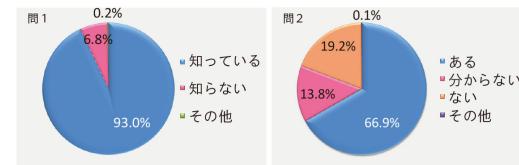


ジェネリック医薬品のこと、皆様はどうくらいご存知でしょうか。
「どんな薬?」「どうして安いの?」「安全性は?」「効果は大丈夫?」
そんな知っているようで、知らなかつた
ジェネリック医薬品のギモンに薬剤師がお答えします!



質問1 ジェネリック医薬品を知っていますか?

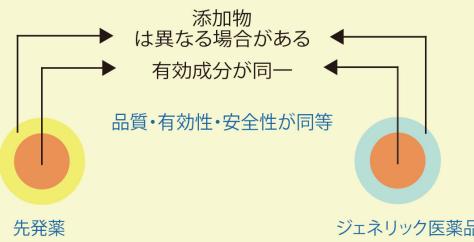
質問2 ジェネリック医薬品を使用したことがありますか?



ジェネリック(後発)医薬品とは

ジェネリック医薬品は先発医薬品(以下、先発薬)と治療効果が同等であり、代替可能な医薬品であることを、必要なデータに基づいて審査を行ったうえで、厚生労働大臣が製造販売を承認したもののです。先発薬と同一の有効成分を同一量含有しており、効能・効果や用法・用量も基本的には変わりません。

<先発薬とジェネリック医薬品の違いについて>

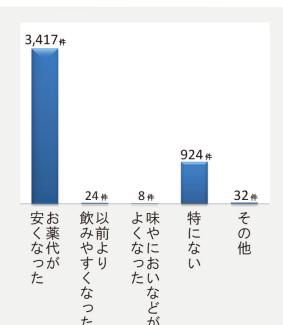


<価格設定について>



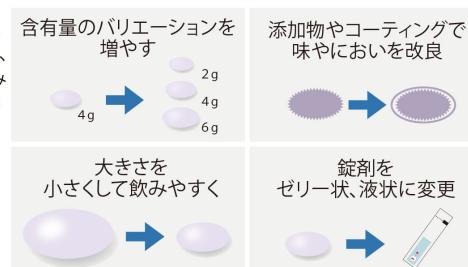
質問3 (質問2:ジェネリック医薬品を使用したことがありますか?)で「ある」と回答した方へ ジェネリック医薬品を使ってよかつたことはありますか?

ジェネリック医薬品のメリットとして

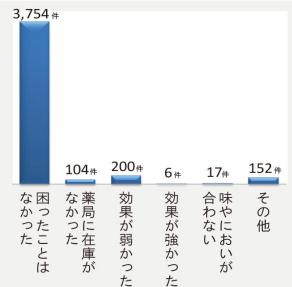


安さのほか、味の改良や小型化、溶け方、錠剤・シートの表示工夫等、新しい技術により先発薬よりも飲みやすさや飲み間違いを防ぐ工夫が行われているものが多くあります。

ジェネリック医薬品による工夫



質問4 (質問2:ジェネリック医薬品を使用したことがありますか?)で「ある」と回答した方へ
ジェネリック医薬品を使って困ったことはありますか?



「外用薬の使用感が違つた」

塗り薬や貼り薬等の外用薬については、有効成分が同じでも使用感などに違いが出ることがあります。しかし、使用感に差があるから悪いというわけではありません。先発薬とジェネリック医薬品のどちらが合うかは、個人差があります。医師や薬剤師と相談し、体質や目的に合った選択を行うことが大切です。

「効果が弱かつた、強かつた」

先発薬とジェネリック医薬品は承認審査の際に、品質・有効性及び安全性において同等であるとされています。しかし、医療の現場では、先発薬からジェネリック医薬品へ切り替えた場合、あるいは逆に、ジェネリック医薬品から先発薬に切り替えた場合に、それまで得られていた効果が得られなくなることがあります。こうした事象が起こる原因ははつきりしていませんが、「プラセボ効果*」のような心理的な要因や、体調等が関与している可能性があると考えられています。

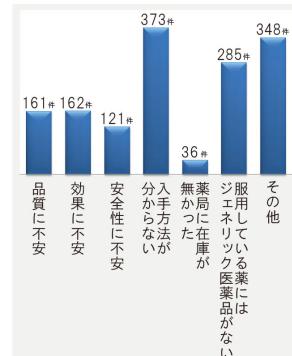
*プラセボ効果:偽薬効果とも呼ばれており、本来は薬効として効く成分でない薬(偽薬)を服用したにもかかわらず、病気が快方に向かったり、治癒することを意味します。

「味やにおいが合わない、粒が大きくなり飲みにくい」

メーカーによって、添加剤や色、形、味、香り、大きさなどを工夫している場合があります。以前服用した医薬品が合わなくとも、他メーカーの医薬品であれば大丈夫な場合もあります。薬剤師にご相談ください。



質問5 (質問2:ジェネリック医薬品を使用したことがありますか?)で「ない」と回答した方へ
ジェネリック医薬品を使用したことがない理由は何ですか?



「薬のアレルギーに不安がある」

体には、ウイルスや細菌などの外敵をやっつけようとする免疫という仕組みがあります。この仕組みにより、薬や食べ物など外から入ってくる物質に過剰反応した結果起るのがアレルギーです。その原因となる物質は人それぞれ異なります。

先発薬とジェネリック医薬品とでは異なる添加物を使用する場合があります。この添加物に対するアレルギーの可能性は否定できませんが、医薬品の添加物は他の医薬品でも多く使用されているものが採用されています。

アレルギーが気になる方は、医師や薬剤師にご相談ください。

